

設置前に必ずお読みください

この度は当社製品をお買い求めいただきまことにありがとうございました。
この取付説明書をよく読み、正しく本商品を設置してください。

- 設置に関しては、必ずこの取扱説明書に従い正しく設置してください。
この取扱説明書は浴槽周囲の壁仕上げ完了まで活用します。捨てずに次工程の施工業者の方に手渡してください。
※この取扱説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
- 「取扱説明書」は必ずお客様にお渡しください。
- 人造大理石浴槽、FRP浴槽を処分する場合は、許可を受けている処理業者に依頼するか、破碎の上許可された処理場にて処理してください。

安全のために必ずお読みください

- ここでは設置に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。設置前にこの項目をよくお読みいただき、正しく設置してください。

用語および記号の説明



注意

「取扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を表しています。



してはいけない「禁止」の内容を表しています。



気を付けていただきたい「注意喚起」の内容を表しています。



必ず実行していただく「強制」の内容を表しています。



注意



浴槽の上に乗って作業をしないでください。
※足を滑らせてケガをしたり、浴槽に傷が付くおそれがあります。



注意

- 設置に使用する溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は容器などに記載の注意事項に従って、正しく使用してください。
※使い方を誤ると人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の劣化や損傷の原因になることがあります。



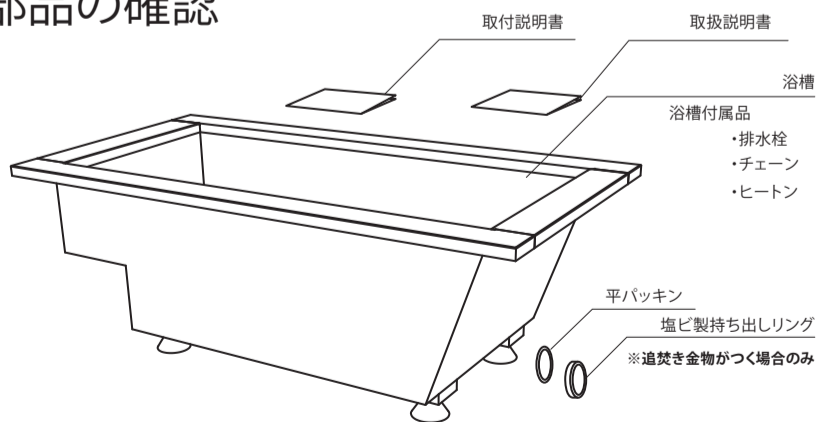
- 2階以上の階に設置する場合や、水漏れによる被害が予想される場所に設置する場合は、必ず防水層を設けてください。防水層の立ち上がりは、浴槽框面より高く設けてください。また配管取出部は確実に防水処理を行なってください。
※防水工事に不備があると漏水により家財を汚したり、腐らせるおそれがあります。



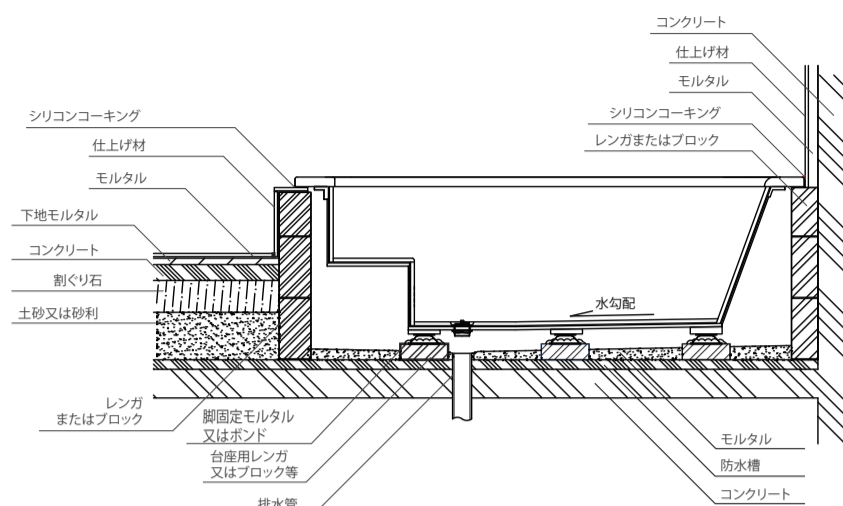
- 浴槽と壁・タイルの接合部分は必ず3mm以上のクリアランスをとり、シリコンコーキングをしてください。
※設置に不備があると漏水したり、タイルや浴槽が破損するおそれがあります。



部品の確認



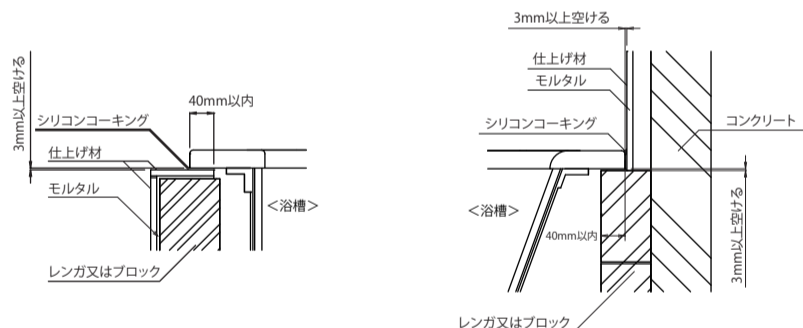
設置例



設置前のご注意

- 特に以下のことは注意してください。

- 浴槽本体に破損がないことを確認してください。
※商品には万全を期しておりますが輸送などで破損している場合があります。
その場合は、当社へお問合せください。
- 壁材との取合いを確認してください。
- 框(縁)部を壁にのみ込ませる設置は避けてください。
- 浴槽本体とタイルの接合部分は必ず3mm以上のクリアランスをとり、シリコンコーキングをしてください。
※浴槽の膨張などでタイルや浴槽が破損するおそれがあります。
- 必ず搬入経路を確保してください。
また運搬するときには最低4人以上を確保し、引きずらないでください。
※浴槽が破損するおそれがあります。
- 設置に必要な部分以外は、できるだけダンボールなどで、十分に保護してください。
※浴槽に傷が付くおそれがあります。



設置上のご注意

- 絶対に土足でのったり、脚立などを浴槽内に立てないでください。
※浴槽が破損したり、表面に傷が付くおそれがあります。
- 浴槽に硬いものをぶつかけたり、工具などを落とさないでください。
※浴槽が破損したり、表面に傷が付くおそれがあります。
- 浴槽の上部に重いものを載せたり、表面にモルタルなどを付着させないでください。
※浴槽に傷が付くおそれがあります。
- 浴槽にタイル洗いの塩酸などを含んだ洗剤をかけたください。
※浴槽が傷みます。万一かかった場合はすぐ洗い流してください。
- 裏面から直接圧力が加わる設置、框(縁)部や手すり部だけで支える設置は絶対にしないでください。
※浴槽が破損するおそれがあります。
- トーチランプの火溶接の火花、タバコの火などが浴槽に当たらないようにしてください。
※浴槽が破損したり、変色するおそれがあります。

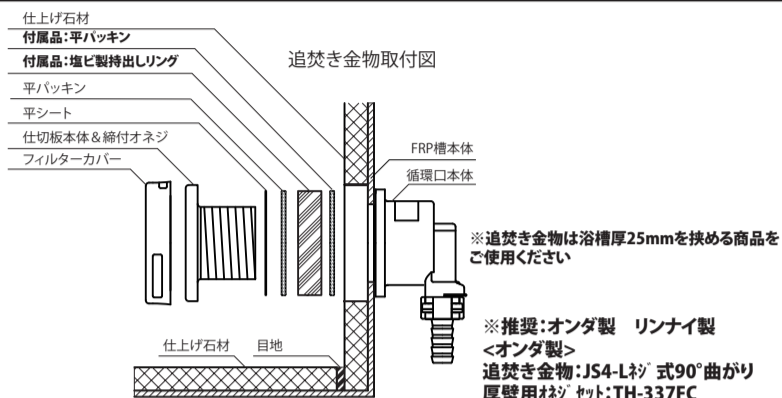
設置方法

1 追焚き金物がある場合の取り付け (穴開きはオプションとなります)



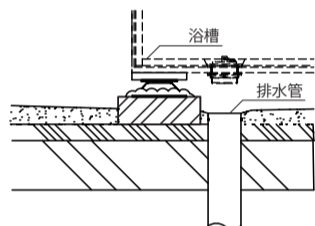
注意

追焚き金物が必要な場合は、別途追焚き金物をご用意ください。
追焚き金物の取付説明書をお読みの上、正しく取り付けてください。
※取付けが不完全な場合、漏水により家財を汚したり、腐らせるおそれがございます。

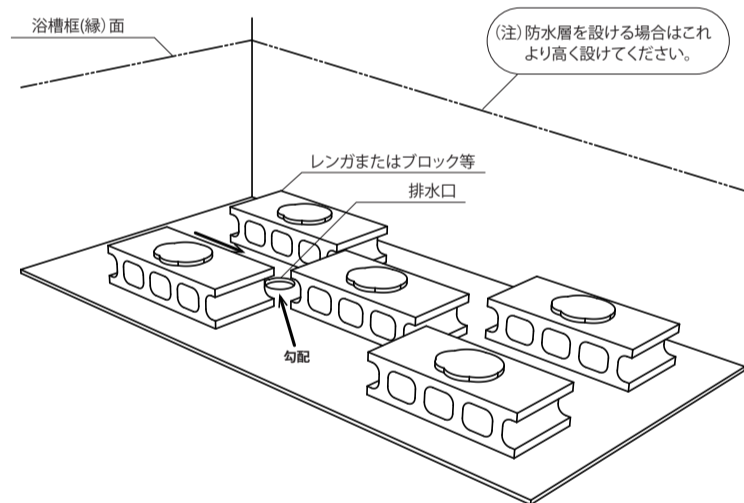


2 浴槽の下地作り

- ①排水口の位置を商品図で確認し、φ75mm以上の穴を設けます。
- ②排水口への排水勾配 (1/50~1/100程度) を設けます。
- ③浴槽脚部の位置を商品図で確認し、土台の位置を決めます。
- ④浴槽の土台にはレンガ、またはブロック等を使用し上面が水平になるように固定します。



※別途直結排水金物を使用し配管をしてください。

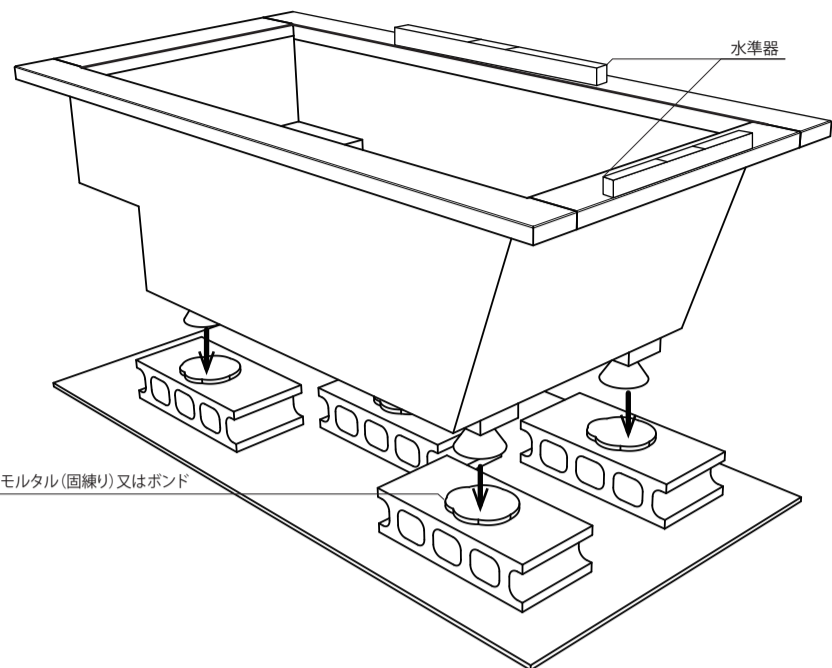


注意

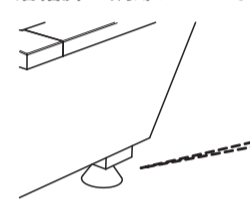
2階以上の階に設置する場合や、水漏れによる被害が予想される場所に設置する場合は、必ず防水層を設けてください。防水層の立ち上がりは、浴槽(縁)上面より高く設けてください。また配管取出部は確実に防水処理を行ってください。
※防水工事に不備があると漏水により家財を汚したり、腐らせるおそれがございます。

3 浴槽の設置

- ①浴槽の土台に、モルタル(固練り)又はボンドを盛ります。
※脚5点とも土台の上にモルタル又はボンドを固定するようにしてください。
- ②浴槽のレベルに注意しながら、徐々に浴槽を押し下げます。
- ③水準器を浴槽の上面に載せ、水平を出します。
※水平がとれていないと、浴槽内に水が残る場合がございます。
- モルタル又はボンドが固まるまで浴槽にのったり金具などを取付けしないでください。
※浴槽が傾いたり、沈下する場合がございます。
- 裏面から直接圧力が加わる設置、(縁)部や手すり部だけで支える設置は絶対に行わないでください。
※浴槽が破損するおそれがあります。



浴槽脚の調節について



●浴槽脚は高さ調節が可能です。(24mm以内で伸縮可能)
※ただし、ねじ部の穴が見えない範囲で調節してください。

4 仕上げ(縁(縁)部取合い例)

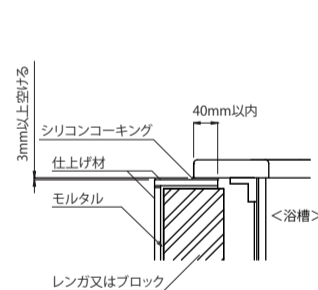
壁面について



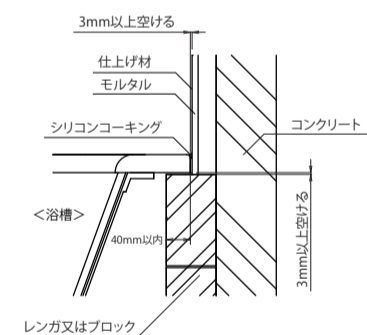
注意

浴槽と壁・タイルの接合部分は必ず3mm以上のクリアランスをとり、シリコンコーキングをしてください。
※設備に不備があると漏水したり、タイルや浴槽が破損するおそれがございます。

【設置例 1】



【設置例 2】



確認

1 清掃

浴槽内のごみや異物を取除きます。

2 水漏れの確認

給水、排水して循環金具の取付部などより水漏れがないことを確認します。

3 保護

浴室のすべての工事が完了するまで浴槽全体をダンボールなどで十分保護します。

4 引渡し

取扱説明書により正しい使い方をご説明の上、取扱説明書を必ずお施主様にお渡しください。